

熊本中央病院を受診された患者さま、研究対象者のみなさまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

以下の臨床研究に関しては、個人情報を匿名化した上で学会、研究会等への利用をさせていただきます。

内容をご確認いただき、研究対象者となることを希望されない方は下記お問い合わせ先へご連絡ください。

研究課題名	当院の肺癌手術患者における ERAS の取り組みの現状 ～術後早期離床と早期経口摂取、疼痛管理の変更前後での比較検討を通して～
研究責任者	西 5 階病棟・RCU 青木 明子
本研究の目的・意義	ERAS(Enhanced Recovery After Surgery)とは、2005年に ESPEN(欧州臨床栄養代謝学会)で提唱された周術期管理に関する提言であり、チーム医療においてエビデンスに基づくプロトコルを包括的に組み合わせて実践し、評価を定期的に行うことにより、その効果や向上を目指す術後回復強化プログラムである。A 病院呼吸器外科では、肺癌に対し胸腔鏡下手術を主体として低侵襲手術を行う中、各プロトコルを導入している。ERAS の実践により、患者の術後回復力の強化、術後合併症の低減、安全性の向上、在院日数短縮や医療費の削減を目的としている。2023 年より早期離床、早期経口摂取、疼痛管理を変更した。本研究は、この術後早期離床・早期経口摂取・疼痛管理の 3 項目に関して、変更前後で従来群と変更群に分けて比較検討を行うことで、術後回復促進に繋ぐことができたのか、後方視的に現状を明らかにし、その結果から、今後の術後援助方法の取り組みへの示唆を得る。
研究予定期間	委員会承認後から 2024 年 4 月 30 日まで
該当資料・データ	対象となる患者さま：2023 年 3 月 1 日から 2023 年 12 月 31 日までの間、当院で肺癌手術を受けられた患者様。 利用する情報：電子カルテに記載のある診療記録・検査データを利用します。
個人情報の取扱い	診療録から得られたデータから、氏名、生年月日、手術日など個人情報を識別可能な症状を削除し、個人情報とは無関係の番号をつけ匿名化を行います。 個人識別情報と付加番号の対応表は西 5 階病棟・RCU にて作成し、各科の個人情報管理者が厳重に管理し、その他の関係者、担当者には渡しません。データ解析の際は、匿名化後のデータのみを扱うため、個人を特定できる情報は含みません。研究の成果を学会、誌上に公開する際も個人を特定できる形では公表しません。
共同研究機関	無し
本研究の資金源	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話：096-370-3111（代表） 担当者：青木 明子（看護部、西 5 階病棟・RCU）